

現在進行中の主な取り組み

浜離宮恩賜庭園の周囲を流れている「築地川・汐留川」の悪臭問題

浜離宮恩賜庭園の周囲を流れている「汐留川・築地川」の40隻近い不法係留船による尿尿の垂れ流しや銀座地区生活下水の放流を原因とする酷い悪臭が、長年港区の近隣マンション住人を悩ましています。

築地浜離宮地区自治会長が平成20年3月18日に都議会にその旨の請願を提出し、同年6月5日に採択をされてから4年以上たったにもかかわらず、未だに改善をされていないため、再度、被害地区住民・町会・自治会・企業が丸となり悪臭問題改善の申し入れを行いました。

現在、不法係留船の一斉撤去と生活下水方流口の封鎖する方向で動き出しています。
<2011/05/09>



「ヒューマン・コミュニケーション教育」の推進

平成24年6月23日（土）に、大田区立入新井第4小学校（町田恭子校長）で行われた鳥取大学医学部総合医学教育センター 高塚人志准教授による「“人の間に生きる”自分とそばにいる人を大切に思う気持ちを育むために」の公開授業に、同校5,6年生・PTA・教職員および大田区教育委員会の方と一緒に参加をさせていただき、参加者全員が感動したこの授業を港区立の小学校に取り入れるべくチャレンジをしています。
<2012/06/27>



皆様の声をお聞かせ下さい

① 私の質疑および区の答弁におけるご感想やご意見があればご記入願います。

② 今後、定例会及び各委員会で取り上げて欲しい問題があればご記入願います。

③ 毎日の生活の中で“疑問”や“こうあって欲しい”という区政に対するご意見やご要望があればご記入願います。

④ 「錦織淳二の質疑」および「区の答弁」の全文を記載した冊子をご希望される方にお送りいたします。（○で囲んで下さい）

・希望する

・希望しない

ふりがな

氏 名：

住 所：

電話番号：

メールアドレス：

※恐れ入りますが、FAXまたはE-mailでご返信願います。

FAX：03-5776-0602 E-mail：info@jnishikori.jp

プロフィール

1951年島根県松江市にて誕生。和光卒業後、精密機器メーカーおよびIT企業において人事一筋20年間勤務。1994年米国において会社設立。1997年港区赤坂において人事コンサルティングのグローバルブレン(株)を設立し、代表取締役社長に就任。人生60歳からはボランティアの人生を目標とし、40歳代から50歳代は会社経営をして生活基盤をつくってきました。米国生活において、政治はボランティアであることを学び「最大のボランティア＝政治」にチャレンジする次第です。今や日本はどんどん元気がなくなってきており、新しい元気な日本（港区）をつくる要になるため、精一杯頑張ります。

趣味はマリンスポーツと音楽で小型船舶操縦士1級の免許を持ち、六本木男声合唱団倶楽部
http://www.rokudanku.com/ のメンバーです。

卯年、A型、射手座、娘3人の父親。

港区議会みんなの党

にしこり 淳二の主張



～区議会活動レポート～

年間活動報告のご挨拶

新人議員として昨年5月に初登庁し、早いもので1年が経ちました。その間、多くの区民の皆様からご意見・ご相談をお受けする中で、区議としての責任をますます強く感じており、ここに平成23年度の活動報告をさせていただきます。

所属委員会・所属団体

23年度

常任・特別委員会

・区民文教常任委員会委員

・行財政等対策特別委員会委員

・防災・エレベーター等対策特別委員会副委員長

その他委員会・付属機関等委員

・港区議会情報公開協議会

・港区国民健康保険運営協議会

24年度

常任・特別委員会

・総務常任委員会委員

・まちづくり・子育て等対策特別委員会委員

その他委員会・付属機関等委員

・区議会だより編集委員会

・（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団評議員会

発行／編集責任者

港区議会みんなの党

錦織 淳二（にしこり じゅんじ）

〒105-0021 東京都港区東新橋1-10-2-3207

TEL:03-3436-6331 FAX:03-5776-0602

E-mail:info@jnishikori.jp

※活動報告の全容は、ホームページをご覧ください

<http://www.jnishikori.jp/>



港区議会みんなの党 にしこり淳二 活動レポート

主 な 取 り 組 み

政務調査費使途明細のホームページによる一般公開

平成23年第3回港区議会定例会における、私の質疑の中で「政務調査費使途明細の ホームページによる一般公開」を議長に強く要請していましたが、ついにHP上で の一般公開が決まりました。

〈2012/03/16〉

「赤ちゃん登校日」の授業を推進

NHKでも放映されている「鳥取大学医学部総合医学教育センター 高塚人志准教授の人間関係力を学ぶ「赤ちゃん登校日」の授業(ヒューマン・コミュニケーション教育)」が現在、鳥取・島根・岡山・香川・奈良・石川・埼玉・神奈川県の教育委員会で導入されており、同授業のDVD・リーフレット・新聞記事等の資料を、港区の教育委員長、教育長、小・中学校校長、幼稚園園長、各PTA会長、私立幼稚園PTA連合会会長に配布したところ反響が大きく、港区の小・中学校においてもこの授業を取り入れるべく努力し続けています。

〈2012/01/05〉



汐留地区における道路工事の無駄の排除

汐留地区のイタリア街からイタリア公園に通じる、「新銭座トンネル(JR線ガード下)」工事の交通誘導員を外し、1ヵ所あたり年間1,175万円の無駄の排除をしました。

〈2011/12/01〉



“文化芸術ホールの建設中止”および“議員給与カット”

選挙中からの公約とし、第3回港区議会定例会の代表質問でも中止または「PFI事業」ですべきと訴えた「田町駅東口北地区公共公益施設“文化芸術ホール”」の建設は、3年間における区の財政状況を見極めながらという苦しい言い訳をしているものの、一旦中止の運びとなりました。同ホールは毎年維持管理費だけでも8億5,000万円も掛かるハコモノなので引き続き注意深く見張っていきます。また、議員給与カットの公約も果たしましたが、さらなるカットを目指して頑張っています。



〈2011/11/09〉

放射線量の測定結果をホームページ上でわかりやすく公表

5月30日、福島原発の放射能漏れによる子供への人体被害を心配する区民が非常に多いため、芝・赤坂・麻布・高輪・芝浦港南地区に放射線量の測定時間・場所(公園・校庭の地表・大気中/地上50cm・水中/プール等)を定め、毎日の測定結果をホームページ上でわかりやすく公表する旨の要望書を、いち早く港区長に提出したところ、6月から実施する旨の回答がありました。

〈2011/06/02〉

定 例 会 (本 議 会) に お け る 質 疑

平成23年 第3回定例会

「防災と財政に関する危機意識の問題および議会改革」について代表質疑
平成18年6月3日に起きた「シティハイツ竹芝エレベーターにおける16歳男子高校生の死亡事故」は、“区政の危機管理の意識の低さ”から起こった“人災”であり、事故対処マニュアル等を整備すれば良いということでは無く、「職員の危機意識と機転」の問題である。今後、職員の「意識改革」を徹底し、二度とこのような悲惨な事故を起こしてはならない。また、政務調査費使途明細のホームページによる一般公開をすべき。

〈2011/09/15〉

※インターネット録画中継(錦織淳二代表質問:約30分)

http://www.minato-city.stream.jfit.co.jp/giin_result.php?GIINID=2837

平成24年 第1回定例会 「成熟社会における教育」について一般質疑

「成熟社会における教育」①成熟社会における教育改革 ②武道の授業に対する目的と安全対策 ③リスク教育 ④ヒューマンコミュニケーション教育 ⑤実用社会で通用する教育 ⑥小中学生海外派遣の目的達成について質疑。

〈2012/02/24〉

※インターネット録画中継(錦織淳二一般質疑:約25分)

http://www.minato-city.stream.jfit.co.jp/giin_result.php?GIINID=2837

平 成 2 3 年 度 決 算 特 別 委 員 会

「国民健康保険料」について質疑

協会健保、組合健保、共済組合健保等ほかの健康保険制度との格差を改善し、少子高齢化かつ右肩下がりの時代を想定した保険制度に変えない限りいずれ破綻してしまう。国保加入者の立場に立って国保制度改善の声を委員会に上げるべき。

〈2011/10/04〉



「ポイ捨て禁止条例」について質疑

特別区のたばこ税収入が48億7,890万1,703円あるとはいえ、タバコルール関係事業費が1億9,178万5,450円もかかっており、受動喫煙や環境美化の問題だけではなく、区民や事業者が清掃に要する労力・時間・費用の問題とか、ボヤ等の防災問題および喫煙者の健康問題と医療費の問題を考えてみても、今後は喫煙者のモラルに頼るだけではなく、ポイ捨て禁止条例に罰則規定を設けて、厳しく取り締まっていく必要がある。

〈2011/09/29〉



「職員の防災教育」について質疑

職員の危機意識改革の教育は、あくまでも理論に基づいた机上の研修のが多く、これでは災害が起きた際、瞬時に適切な行動がとれない。人は、ノウハウや知識を詰め込めば想定に縛られてしまい、想定外のことに對して行動ができなくなってしまう。災害から身を守るためには、みずから考える力をつけ、瞬時の行動において機転が利くようにならなければならぬ。

〈2011/09/28〉

平 成 2 4 年 度 予 算 特 別 委 員 会

港区議会みんなの党を代表して「総括質疑」

①特別区民税の大幅な減少および今後の厳しい状況を踏まえ、区民税均等割りの税率引き上げをする前に区職員人件費の削減に取り組むべき。
②区民および事業者が節電を呼びかけながら、スポーツセンターをはじめとした巨大な電力需要の施設を建設することは、区政の自己矛盾であり、節電の必要性がなくなるまで建設工事を延期すべき。
③国民健康保険料および特別区民税の滞納額が現在74億円で、今後も財政を圧迫し続けるため収納のやり方を変えるべき。
④港区の人口増加減少の分岐点を予測し、まだ余裕があるうちにその対策を立てておくべき。

〈2012/03/14〉

「国民健康保険料の滞納問題」について質疑

国民健康保険料の滞納額が31億円近くあり、その滞納額はすべて区民の血税から充当されている。また、予算計上の際に最初から徴収をあきらめている保険料が15%もある上に、毎年その分を差し引いた保険料すら徴収できず、滞納額がどんどん増えていくことに危機感の無さを感じる。滞納保険料の収納目標を設定し、払えるのに払わない悪質な滞納者に対しては厳しく取り立てるべき。

〈2012/03/12〉

「証明書自動交付機」および「シルバー人材センター」について質疑

「証明書自動交付機(コンビニ交付機)の導入」をすれば、全国1万2,600店舗(港区内66店舗)のセブンイレブンで、早朝6時30分から夜間11時まで、住民票、印鑑登録証明書、戸籍証明、区民税・都民税の課税(非課税)証明書の交付サービスが受けられ、かつ人件費・運用費・窓口受付業務のコスト削減が出来る。

また、シルバー人材センターありきで継続的な仕事の進め方をするのではなく、経費の削減を念頭に置き、ボランティアを募集する等、それぞれの仕事に合ったフレキシブルなやり方を考えるべき。

〈2012/03/06〉

「区議会だよりの配布ルート」について質疑(予算特別委員会)

区議会だよりの読者数が、そのまま選挙時の投票率にもつながる確率が高いため、区議会としては広報紙改革をし、区民の皆様が親しみをもちたいだけ冊子作りを考えていく必要があり、区としても区議会だよりの配布方法を検討すべき。

〈2012/03/05〉

